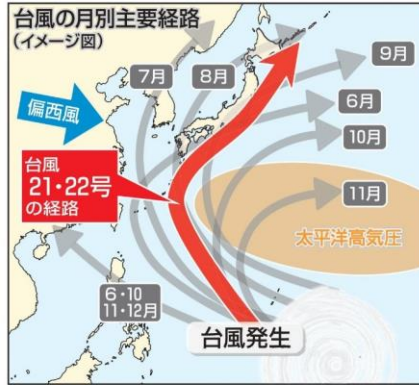


① 例年 10 月にはそれほど九州に近づかない台風が、なぜ今年は 2 個も来たのでしょうか。記事中の言葉を使って説明しましょう。

### 季節外れの台風相次いだ今月



**太平洋高気圧勢力強く  
縁に沿って九州へ北上**

季節外れの台風 2 個が今月下旬、県内に相次いで接近した。「10月に台風が九州に近づくのは3年に1回程度。太平洋高気圧の勢力が強くと、北上しやすい気圧配置が要因となった」と大分地方気象台。週末ごとに接近し、衆院選やイベントに影響が出るなど強風と大雨に振り回された1カ月だった。

気象台によると、10月に県内に接近したのは21号(22日)と22号(29日)。九州北部への10月の年平均接近数は平均0.3個。10月の台風は日本から離れた太平洋上に北上するが、大陸方面に抜けていくのが一般的。

原田理彦観測予報管理官は「今年は太平洋高気圧の勢力が強くと、高気圧の縁に沿って進んだため、九州に近づいたのではないかと推測する。台風や九州南部に停滞した秋雨前線の影響で降水量も増えた。県内19観測地点のうち、大分市(620.5ミリ)や臼杵市(498.5ミリ)など14地点で10月の記録を更新した。台風21号の接近で、津久井、佐伯両市の離島では衆院選の投票日(22日)を21日に繰り上げた。29日に大分市で予定していた第37回大分国際車いすマラソン大会は29日の接近で中止となった。11月は移動性高気圧に覆われやすくなり、降水量も平年並みか少なくなる見込み。日照時間も多そう。気象台は「デー々的には1981年以降、11月に県内に接近した台風はない」としている。

(姫野直也)

② 10 月の台風の多くは、普段はどんなコースを通るのでしょうか。

③ 11 月はどんな天気になりそうですか。記事中の言葉を使ってまとめましょう。

(2017 年 10 月 30 日付夕刊社会面)